

令和 2年 8月 4日

保護者の皆様

中野区立南台小学校  
校長 松井 敏

## SNS家庭ルールの確認と話し合い、利用状況の把握と見守りのお願い

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。本年度も本校では安全・安心の重点に、SNSの対応と自転車の乗り方を設定し、継続的に指導を進めています。

夏季休業に当たり、再度ご家庭でのルールの確認をお子様と話し合われることをお願いいたします。併せて、お子様がゲーム機、携帯電話、スマートフォン等の通信機器を用いてインターネットやゲーム、SNSをどのように使っているのかを確かめていただき、見守りをお願いします。子供の使用状況の把握は、様々なことからの危険回避には必須だと考えます。必要に応じてご指導をお願いします。

### 1 インターネットやSNS使用の現状

平成30年度の東京都教育委員会の調査によると、アプリ使用状況は、小学生でのYouTubeの利用が80%を超えています。また、LINEは40%に届く数値になっており、中学生では80%を超えます。保護者の方が把握できていない状況も見えてきています。1日のインターネット使用時間は、2時間までの使用割合が減少し、長時間化傾向にあります。お子様の使用状況はいかがでしょう。また、平成30年度の警視庁調査によるとここ数年、自撮り被害（※）に遭った児童・生徒数は増加しています。

※自撮り被害 だまされたり、脅されたりして児童生徒が自分の裸体等を撮影され、その上でメール等で送られること（警視庁）

### 2 SNS東京ルールの改訂（令和元年4月25日）とその趣旨

昨年度、SNS東京ルールの改訂がありました。利用時間の自律的な管理、情報を発信するアプリの適切な使用、自撮り画像等による被害の防止等を改訂の方向性にしています。

＜改訂版 SNS東京ルール＞

- ①スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯、場所を決めよう。  
（ネット依存につながる長時間の利用を防ぐ。）
- ②必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。  
（ネット利用のための基本的なルールを徹底する。）
- ③送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。  
（ネットを通して、他の人をいじめたり傷つけたりしない。）
- ④個人情報をお教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。  
（自分や他者の個人情報を載せないようにしよう。）
- ⑤写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。  
（ネットに公開した情報は削除できないという危険性を理解する。）

### 3 改訂版SNS学校ルール（改訂版 SNS南台ルール）

本校のSNS学校ルール（SNS南台ルール）も昨年度改訂しました。南中野中校区共通ではありますが、今後も代表委員会（児童会）で話題にしていきます。みなみの小、南中野中も見直しを進めています。

＜改訂版 SNS南台ルール       下線が昨年度の改訂箇所＞

- ①個人情報（写真や動画なども）は書かない。
- ②他の人がいやな思いになることはしない。
- ③夜の7時を過ぎたら、SNSを利用しない。
- ④週に一度は電源を切る。
- ⑤送る前に必ず送る相手や内容を確認する。
- ⑥知らない人とつながらない。

### 4 SNS家庭ルールの確認や見直し、作成のお願い

ご家庭におけるゲーム機、携帯電話、スマートフォン、インターネット等の使い方を親子で話し合っ、確認や見直し、作成をして下さい。そして、定期的にルールを見直すなど、年齢に応じた使い方を考えるようにしてください。

＜考えるポイント＞

①使いすぎを考える。

利用時間の限度・利用しない部屋・料金や課金の限度・利用しない日 等

②知らない人とのやりとりを考える。

メール等の相手を決める・個人情報を公開しない・有害サイトを利用しない 等

③ルールを守れなかった時にどうするかを決める。

購入し使い始める際、守れなかった時のことまで話し合っておくことが効果的です。

平成30年度東京都教育委員会の調査では、親子で話し合いをすることが、子供自身が自分でルールを守って利用することにつながるという傾向が見られています。

子供の様子からは、アプリやゲーム機の使用状況を保護者の方が把握していないことも見受けられます。また、実際にトラブルが起りかけていても、そのことを保護者の方が全く知らないような状況も存在します。SNSとは登録制の交流サービスです。SNSに関するアプリは、13歳未満の利用が禁じられているものが多数あります。年齢制限もご確認ください。これにかかわる抜け道も数多く存在します。スマートフォン等の使用を巡って、子供に反抗されても毅然とした態度で向き合うことが必要です。オンライン学習のための準備も進み、パソコンに触れる機会も増えていく中、社会全体でも考えるものです。

携帯電話、スマートフォン等はゲーム機も含んで、保護者の方が使用させているものです。使用の仕方を考えないと大変危険なものであることの認識が必要です。子供の使用状況の確認は、危険回避には必須だと考えます。

長期休業に入ります。お子様のゲーム機、携帯電話、スマートフォンやインターネット等の使い方を確認していただくと共に、子供たちがよりよい使い方を身に付けられるよう家庭ルールについても話し合ってくださいようお願いします。